

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年6月27日				
キッズステーション蒼組						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		共生型の特性を活かし、高齢者と場所を共有しコミュニケーションを取りやすくしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		主担当を決め、場所を離れる時は、代替のスタッフに声をかけ、常に気を配っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		玄関に稼働式スロープを配備し、車いすにも対応しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		高性能空気清浄機を稼働してきれいな空気の中で活動しています。	メンテナンスに注意し、継続してよい環境が提供できるよう対応していきます
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		扉のある個別の部屋を設け、いつでも使用することは可能です。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		活動に際し気になることが発生した際には、その都度スタッフ間で話し合うことにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表だけでなく、メールや送迎時に直接要望等を聞くようにしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務日報を共有し、定期的にスタッフミーティング内で課題検討しながら業務改善につなげています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		半年に1回運営推進会議を開催している中で評価をしていただき、業務改善につなげています	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間研修計画に基づき、積極的に研修に参加しています	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		サービス利用時のこどもとの関わりの中でアセスメントを更新し、送迎時の保護者との会話を通して計画を作成しています	引き続き、制度に基づく計画を作成していきます
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童指導員を中心にスタッフ間で日々の振り返りや情報を共有し検討しています	看護師、介護士などの多職種とも共通理解を深めるよう努めていきます
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で共有しやすいように、個別に整理したものを共有スペースに設置し支援しています	内容が十分に伝わるように職員間で共有します
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の行動や体調、表情の観察などを含むアセスメントを使用し、状況確認しています	引き続き、細やかにアセスメントを行なっています
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」「家族支援」を重視して支援内容を設定しています	「地域支援・地域連携」についてさらに工夫できることがないか、職員間で協議し内容を深めていきます
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員全員で活動プログラムについて話し合いをし、意見を出し合いながら立案している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員間で意見を出し合い、固定化しないように様々なプログラムを心がけています	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		児童の特性やその日の状態により、個別活動と集団活動の支援を組み合わせ支援しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に職員間で役割分担や留意点を確認し、活動中も連携しながら関わっています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後は、当日の振り返りや確認を行い日報にまとめます。当日勤務がない職員は日報を確認し共有しています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援に関する記録は適切に行い、支援の検証・改善に繋がるように努めています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを実施し、保護者と学校や他事業所での様子を共有しながら見直すポイントに活かしています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		本人の特性を考慮し、共生型の世代間交流を組み合わせ支援しています	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		問いかけに対する表情やしぐさで可能な限り本人の意思を汲み取るようにしています	可視化できるものを増やしていきます
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		こどもの状況を熟知した児童指導員がシフトを調整し会議に参加しています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		日頃から電話連絡を重ねたり、必要に応じて関係機関との連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者を通して情報を得ています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		引継ぎ前の事業所から情報共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	該当する利用者はいません。必要に応じて対応してまいります。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		事業所連絡会にて助言をいただいたり、地域の課題を共有しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		要望があれば前向きに検討したいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	事業所を開設して間がないため、会議の案内をいただいたことがありません。	参加の要請があれば積極的に参加したいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		利用毎に利用中の身体状態や活動の様子を口頭やメールでお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		現在は行っていないですが、保護者より相談や要望があれば対応していきたいと思います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に重要事項説明書に沿って説明をしています。	利用者負担は、単位や加算などをわかりやすくする必要があります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談時に本児・ご家族の意向を聴き取り長期・短期目標に沿った計画を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援計画について説明し、質疑応答をふまえて同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があれば、助言や情報提供を行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		現在行っていないですが、今後検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談窓口は、重要事項説明書に記載し、契約時に説明をしています。苦情があった場合は、迅速に対応してまいります。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		不定期ですが、SNSを発信し、活動の様子を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		年一回は職員向けに研修を行い、画像の扱いも個人が特定できないように注意を払っています	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		主たる障害が重症心身障害のため、常に体調面を重視して対応しています。	保護者との連絡はメールや電話でやり取りし、迅速に対応できるよう努めています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		行事等はありませんが、地域と連携した美化活動をしたり、お祭りなどに積極的に参加するなどオープンスタイルの運営です。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルは整備され、閲覧可能な場所に設置しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPは策定しています。年に2回避難訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者からの情報を、職員間で共有し状況を確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	現在のところ、対象となる児童はいません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全確保に取り組んでいます。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		安全確保の取り組みについても情報発信していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		報告書を共有し、再発防止に向けてリスクマネジメントしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、定期的会議に出席しています。研修やミニテストを行い、適切な対応を確認しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化委員会を設置し、やむを得ない身体拘束については、計画に記載し、保護者の同意を得ています。	